保護ジョブの失敗を解決する

Active IQ Unified Manager

NetApp
December 16, 2025

This PDF was generated from https://docs.netapp.com/ja-jp/active-iq-unified-manager-97/data-protection/task-identifying-the-problem-and-performing-corrective-actions-for-a-failed-protection-job.html on December 16, 2025. Always check docs.netapp.com for the latest.

目次

保護ジョブの失敗を解決する . . . 1
作業を開始する前に . . . 1
このタスクについて . . . 1
手順 . . . 1
保護ジョブが失敗した場合の問題の特定と対処策の実施 . . . 1
作業を開始する前に . . . 1
このタスクについて . . . 1
手順 . . . 2

保護ジョブの失敗を解決する

このワークフローでは、 Unified Manager のダッシュボードで保護ジョブの失敗を特定して解決する方法の例を示します。

作業を開始する前に

このワークフローの一部のタスクは管理者ロールでログインする必要があるため、さまざまな機能を使用するために必要なロールを把握しておく必要があります。

このタスクについて

このシナリオでは、ダッシュボードページにアクセスして、保護ジョブに問題がないかどうかを確認します。保護インシデント領域には、ボリュームで保護ジョブの失敗エラーが表示され、ジョブ終了インシデントがあることがわかりました。このエラーを調査して、原因と潜在的な解決策を特定します。

手順

1. [ダッシュボード*未解決のインシデントとリスク*]領域の[保護インシデント*]パネルで、[保護ジョブ失敗*]イベントをクリックします。

   イベントのリンクされたテキストがフォームに書き込まれます `object_name:/object_name - Error Name`など `cluster2_src_svm:/cluster2_src_vol2 - Protection Job Failed`。

   失敗した保護ジョブのイベントの詳細ページが表示されます。

2. 「概要」エリアの「原因」フィールドのエラーメッセージを確認して、問題を特定し、考えられる対処方法を評価します。

   を参照してください 保護ジョブが失敗した場合の問題の特定と対処策の実施。

保護ジョブが失敗した場合の問題の特定と対処策の実施

原因の詳細ページでジョブエラーのエラーメッセージを確認し、 Snapshot コピーのエラーが原因でジョブが失敗したことを確認します。次に、ボリューム / 健全性の詳細ページに移動して詳細情報を収集します。

作業を開始する前に

アプリケーション管理者のロールが必要です。

このタスクについて

イベントの詳細ページの原因フィールドに表示されるエラーメッセージには、失敗したジョブに関する次のテキストが含まれています。

```
Protection Job Failed. Reason: (Transfer operation for
relationship 'cluster2_src_svm:cluster2_src_vol2->cluster3_dst_svm:
managed_svc2_vol3' ended unsuccessfully. Last error reported by
Data ONTAP: Failed to create Snapshot copy 0426cluster2_src_vol2snap
on volume cluster2_src_svm:cluster2_src_vol2. (CSM: An operation
failed due to an ONC RPC failure.).)
*Job Details*
```

このメッセージには次の情報が表示されます。

- バックアップジョブまたはミラージョブが正常に完了しませんでした。

  ジョブにソースボリューム間の保護関係が関係しています `cluster2_src_vol2` 仮想サーバ `cluster2_src_svm` デスティネーションボリュームを指定します `managed_svc2_vol3` という名前の仮想サーバ上にある `cluster3_dst_svm`。

- に対するSnapshotコピージョブが失敗しました `0426cluster2_src_vol2snap` ソースボリューム `cluster2_src_svm:/cluster2_src_vol2`。

このシナリオでは、ジョブが失敗した場合の原因と潜在的な対処策を特定できます。ただし、失敗を解決するには、 System Manager Web UI または ONTAP CLI コマンドを使用する必要があります。

手順

1. エラーメッセージを確認し、ソースボリュームで Snapshot コピージョブが失敗していることから、おそらくソースボリュームに問題があると判断します。

   必要に応じて、エラーメッセージの最後にある * Job Details * リンクをクリックしてもかまいませんが、このシナリオでは、そのような操作を行わないように選択します。

2. イベントを解決するために、次の作業を行います。

   a. [* Assign to * （ * への割り当て）] ボタンをクリックし、メニューから [* Me* （ * Me * ）] を選択します

   b. [* Acknowledge * （確認）] ボタンをクリックして、イベントにアラートが設定されている場合は、繰り返しアラート通知を受信しないようにします。

   c. 必要に応じて、イベントに関するメモを追加することもできます。

3. [Summary] * ペインで [Source] * フィールドをクリックして、ソース・ボリュームの詳細を表示します。

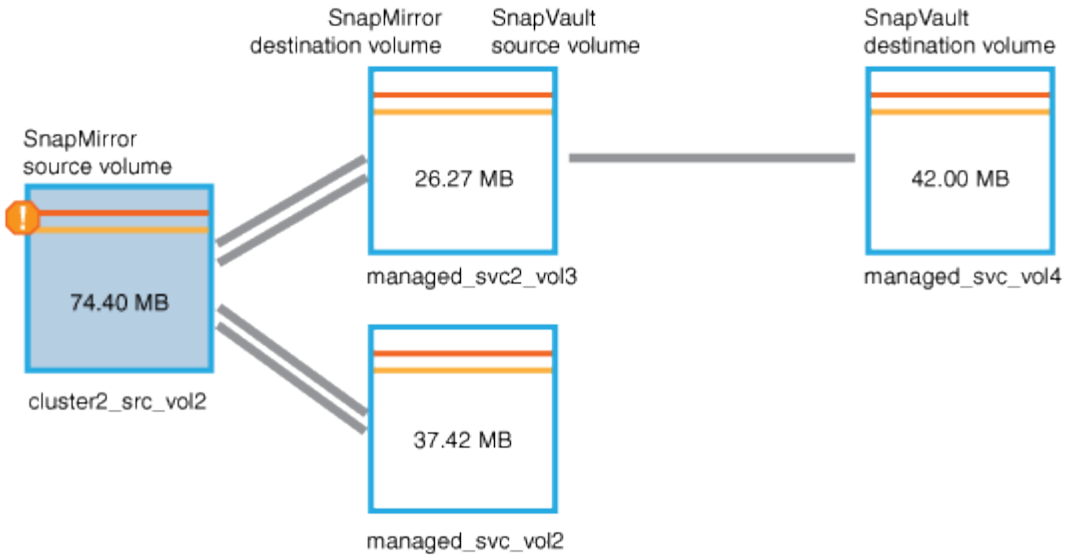
   「 * Source * 」フィールドには、ソースオブジェクトの名前が表示されます。この場合は、 Snapshot コピージョブがスケジュールされたボリュームが表示されます。

   のボリューム/健全性の詳細ページが表示されます `cluster2_src_vol2`をクリックすると、Protectionタブの内容が表示されます。

4. 保護トポロジのグラフを見ると、トポロジ内の最初のボリューム（ SnapMirror 関係のソースボリューム）に関連付けられているエラーアイコンが表示されます。

   また、ソースボリュームアイコンに水平のバーが表示され、そのボリュームに設定されている警告とエラ

ーのしきい値が示されます。



5. エラーアイコンにカーソルを合わせると、ポップアップダイアログが開いてしきい値の設定が表示され、ボリュームがエラーしきい値を超えて容量の問題を示していることがわかります。
6. [容量 *] タブをクリックします。

   ボリュームの容量情報 `cluster2_src_vol2` を表示します。

7. 容量 * パネルの棒グラフに、ボリュームの容量がボリュームに設定されたしきい値のレベルを超えたことを示すエラーアイコンが再び表示されます。
8. 容量グラフの下には、ボリュームの自動拡張が無効になっていることと、ボリュームのスペースギャランティが設定されていることが示されています。

   自動拡張を有効にすることもできますが、このシナリオの目的上、さらに調査を進めてから、容量の問題を解決する方法を決定することにします。

9. 下にスクロールして「 * Events 」リストを表示し、「 Protection Job Failed 」、「 Volume Days Until Full 」、「 Volume Space Full 」の各イベントが生成されたことを確認します。
10. イベントのリストで、「 * ボリュームスペースがフル * 」イベントをクリックして詳細を確認します。このイベントは容量問題に最も関連しているように見えます。

    イベントの詳細ページには、ソースボリュームで「ボリュームスペースがフル」イベントが表示されます。

11. [サマリー*（Summary *）]領域で、イベントの[プロパティ（原因 ）]フィールドを確認します。 `The full threshold set at 90% is breached. 45.38 MB (95.54%) of 47.50 MB is used.`
12. サマリ*領域の下に推奨される対処方法が表示されます。

    Suggested Corrective Actions は一部のイベントについてのみ表示されるため、すべてのタイプのイベントについてこの領域が表示されるわけではありません。

「ボリュームスペースがフル」イベントを解決するために実施する推奨対処策をクリックしていきます。

- このボリュームで自動拡張を有効にします。

- ボリュームのサイズを変更する。
- このボリュームで重複排除を有効にして実行する。
- このボリュームで圧縮を有効にして実行する。

13. ボリュームの自動拡張を有効にすることにしましたが、これを行うには、親アグリゲート上の使用可能な空きスペースと現在のボリューム増加率を確認する必要があります。
    a. 親アグリゲートを確認します。 `cluster2_src_aggr1`をクリックします。

    アグリゲートの名前をクリックすると、アグリゲートに関する詳細を確認できます。

    ボリュームに自動拡張を有効にするための十分なスペースがあることを確認します。

    b. ページの上部で、重要なインシデントを示すアイコンを確認し、アイコンの下のテキストを確認します。

    「フルまでの日数： 1 日未満 | 日次増加率： 5.4% 」と指定します。

14. System ManagerまたはONTAP CLIにアクセスしてを有効にします `volume autogrow` オプション

    ボリュームとアグリゲートの名前をメモしておいて、自動拡張を有効にするときに参照できるようにします。

15. 容量問題 を解決したら、Unified Managerのイベントの詳細ページに戻って、イベントを解決済みとマークします。

著作権に関する情報

Copyright © 2025 NetApp, Inc. All Rights Reserved. Printed in the U.S.このドキュメントは著作権によって保護されています。著作権所有者の書面による事前承諾がある場合を除き、画像媒体、電子媒体、および写真複写、記録媒体、テープ媒体、電子検索システムへの組み込みを含む機械媒体など、いかなる形式および方法による複製も禁止します。

ネットアップの著作物から派生したソフトウェアは、次に示す使用許諾条項および免責条項の対象となります。

このソフトウェアは、ネットアップによって「現状のまま」提供されています。ネットアップは明示的な保証、または商品性および特定目的に対する適合性の暗示的保証を含み、かつこれに限定されないいかなる暗示的な保証も行いません。ネットアップは、代替品または代替サービスの調達、使用不能、データ損失、利益損失、業務中断を含み、かつこれに限定されない、このソフトウェアの使用により生じたすべての直接的損害、間接的損害、偶発的損害、特別損害、懲罰的損害、必然的損害の発生に対して、損失の発生の可能性が通知されていたとしても、その発生理由、根拠とする責任論、契約の有無、厳格責任、不法行為（過失またはそうでない場合を含む）にかかわらず、一切の責任を負いません。

ネットアップは、ここに記載されているすべての製品に対する変更を随時、予告なく行う権利を保有します。ネットアップによる明示的な書面による合意がある場合を除き、ここに記載されている製品の使用により生じる責任および義務に対して、ネットアップは責任を負いません。この製品の使用または購入は、ネットアップの特許権、商標権、または他の知的所有権に基づくライセンスの供与とはみなされません。

このマニュアルに記載されている製品は、1つ以上の米国特許、その他の国の特許、および出願中の特許によって保護されている場合があります。

権利の制限について：政府による使用、複製、開示は、DFARS 252.227-7013（2014年2月）およびFAR 5252.227-19（2007年12月）のRights in Technical Data -Noncommercial Items（技術データ - 非商用品目に関する諸権利）条項の(b)(3)項、に規定された制限が適用されます。

本書に含まれるデータは商用製品および / または商用サービス（FAR 2.101の定義に基づく）に関係し、データの所有権はNetApp, Inc.にあります。本契約に基づき提供されるすべてのネットアップの技術データおよびコンピュータ ソフトウェアは、商用目的であり、私費のみで開発されたものです。米国政府は本データに対し、非独占的かつ移転およびサブライセンス不可で、全世界を対象とする取り消し不能の制限付き使用権を有し、本データの提供の根拠となった米国政府契約に関連し、当該契約の裏付けとする場合にのみ本データを使用できます。前述の場合を除き、NetApp, Inc.の書面による許可を事前に得ることなく、本データを使用、開示、転載、改変するほか、上演または展示することはできません。国防総省にかかる米国政府のデータ使用権については、DFARS 252.227-7015(b)項（2014年2月）で定められた権利のみが認められます。

商標に関する情報

NetApp、NetAppのロゴ、http://www.netapp.com/TMに記載されているマークは、NetApp, Inc.の商標です。その他の会社名と製品名は、それを所有する各社の商標である場合があります。